

**製品名: GPR35 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11677**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GPR35
別名	GPR35; G-protein coupled receptor 35; Kynurenic acid receptor; KYNA receptor
遺伝子 ID	2859.0
SwissProt ID	Q9HC97
免疫原	抗血清はヒト GPR35 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

**背景**

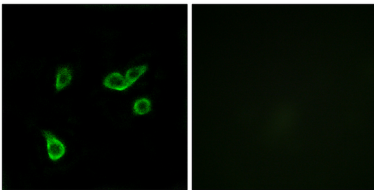
機能:オーファン受容体。類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。組織特異性:膵島と骨格筋を含む、検査されたすべての成人および胎児の組織で発現しており、成人の肺、小腸、結腸、胃で比較的高いレベルにあります。機能:オーファン受容体。

類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。組織特異性:脾臓と骨格筋を含む、検査されたすべての成人および胎児の組織で発現しており、成人の肺、小腸、結腸、胃で比較的高いレベルにあります。、

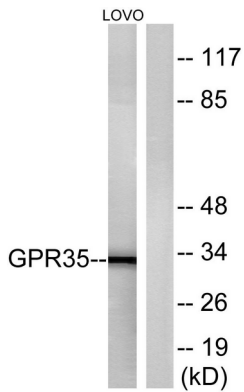
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



GPR35 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



GPR35 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。